

久宝寺地区



発行 者
久宝寺小学校区まちづくり協議会
会長 笠原 彰
久宝寺地区福祉委員会
委員長 佐野 公一
八尾市北久宝寺2丁目1番1号
電話 072-922-2233

許麻の里
沢辺に生ふる
かきつばた
若か手毒に
水やかかせん

「おうち時間」特集

いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺を!!
~新しい生活様式 今こそ充実した「おうち時間」を~

「おうち時間」特集の発行に当たって

令和4年度の「久宝寺地区福祉委員会」と「久宝寺小学校区まちづくり協議会」の活動も早半年が過ぎました。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止のため、一昨年、昨年に続き、恒例の「好きやねん久宝寺まつり」や市民スポーツ祭を中止せざるをえなくなるなど、制約のある活動となりました。

2020年1月に、国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以来、これまで感染拡大の山を迎え、今日に至るまで、制約のある中で地域活動となりました。一方、私たちの生活面では、マスクの着用や手洗い、消毒などの感染防止の対策が、一人ひとりの習慣として定着してきました。

また、3密の回避や不要不急な外出自粛など、「おうち時間」が増える暮らしにもなっています。「ウイルスコロナ」「新しい生活様式」が広がる中、その過ごし方は、日々の暮らしの大切な要素になりつつあります。

新たな暮らしのキーワードとなった「おうち時間」。「おうち時間」が増えた今だからこそ、ちよっとした工夫と思いつきで、より充実した暮らしになるのではないのでしょうか。

ネットをはじめ、テレビなど様々な媒体では、関連の話題が多く見られ、その過ごし方は新しいトレンドになっていきます。今号では、それらの中から、「おうち時間の過ごし方」の参考にしていただける記事を引用すると共に、合わせて、久宝寺地区にお住いの皆さんの「過ごし方」を紹介させて頂いたいただきます。

♡どのように過ごされていますか？

自粛生活が続いていますが、どのようなおうち時間を過ごされていますか？

「おうち時間」とは... 「必要不可欠ではない外出を控えて自宅で過ごすこと、なかならず、自宅で有意義に過ごすこと」(出典: Weblio辞書)だそうです。

「有意義な時間を過ごす」ことは、自分にとって好きなこと、楽しいことを行っている時間だとも考えられます。好きなことをやっている時は夢中になり、あつという間に時間が経っていませんか？

夢中になれるものがあることは、幸せなことです。ここで、好きなこと、夢中になれるものを行うことのメリットについて考えてみます。

①ストレスの解消ができる。
楽しいという気持ちを得ることで、心や体に溜め込んだ不快なものを洗い流すことができ、心が軽くなって前を向こうという意欲も湧いてきます。
自分の気持ちをリセットすることができるので、リフレッシュにもつながります。

②毎日が楽しくなる。
好きなことをするために、仕事や勉強を頑張ろうという気持ちにもなれるので、生活にメリハリができ、充実した日々を過ごすことができます。
③人脈が広がる。
何か趣味を持つことで、そこから人脈や交友関係が広がります。
④時間を有意義に使える。
好きなことをするために、スケジュールを見直すようになります。

以上、メリットについてまとめてみました。自分には趣味(夢中になれるもの)がない、「趣味は？」と聞かれて悩んでしまうという方も多いのではないのでしょうか？

「好きなこと」趣味と捉われてしまうと難しく考えてしまいがちですが、もっと簡単に考えてもよいのではないのでしょうか？

好きなTV番組を見たり、漫画を読んだり、好きな音楽を聴くこと、携帯ゲームだって楽しい時間の過ごし方ではないのでしょうか。
(出典: 医療法人社団まごころ ブログから抜粋)

♡ウイルスコロナ「おうち時間」の過ごし方

ある調査会社が「まだまだ続くコロナ禍での「おうち時間」の過ごし方」というテーマで、男女1000人を対象にしたアンケート調査の結果を発表していましたので、紹介させていただきます。

一昔前の活字版の辞書には、もちろん出ていない「おうち時間」という言葉。
コロナウイルスから身を守るため、「不要不急の外出を控えて、できるだけ自宅で過ごす」という意味ですが、「自宅でいかに有意義に過ごすか」との意味が込められています。

そこで、独自のアンケートで「おうち時間」について調査しました。
【質問】自粛中にやってみて良かったことはありますか？



【特になし】がトップで、全体の4割を占めました。
次いで、捨てられずに溜まってしまった家財などを整理する「断捨離」が3割近く、「運動」「料理」「模様替え」がこれに続きました。

【質問】ご自身で「おうち時間」を有意義に使っていると思っていますか？



「思う」と「少し思う」の合計が43.4%、「あまり思わない」と「思わない」の合計が41.3%。
いずれも全体の4割台で、拮抗していました。

【質問】「おうち時間」中に改めて大切にしたいと思ったことはありますか？



飛びぬけて高い比率の回答はありませんが、「家族との時間」「体を動かす時間」「趣味の時間」「自分だけの時間」といった回答が得られました。

総括してみると、アンケートの回答で特に気になったワードは、「運動不足」でしょうか。
また、7割を超える人が「運動不足」を感じながら、「やってみて良かった」との回答は約1割にとどまり、2割強が「体を動かす時間を大切にしたい」と答えています。

同時に、8割が「家族との時間」などの大切なことも再発見し、「有意義に使えた」と感じた人の割合も8割を超えた。「おうち時間」であったことがわかりました。
内閣府が、2020年からほぼ半年ごとに「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」を発表しています。
それによると、18歳未満の子どもをもつ親を対象に、2019年12月と2020年5〜6月の「家族と過ごす時間」について変化を質問したところ、大幅に増加(+51%以上)と答えた人は全体の23.5%。

増加(+21.1〜50.0%)が22.2%。
「やや増加(+6.5〜20.0%)」が24.6%で、「増加した」人の合計は70.3%でした。
また、「増加した」と答えた人に「家族と過ごす時間を保ちたいと思うか」と質問したところ、2021年9〜10月には「保ちたい」が59.4%、「どちらかというと保ちたい」が31.7%と、合わせると9割を超えています。
新型コロナウイルスに翻弄されたこの間、コロナ禍を機に与えられた「おうち時間」を、これからは上手に活用していきたいものです。

(出典: 株式会社ナビットホームページから抜粋)

♡「おうち時間」を生現役の足がかりに

長寿社会を迎えている現在、あらゆる世代が社会と積極的に関り、自分を高め、社会参画や地域貢献の役割を担っていくことが期待されています。有意義な「おうち時間」の過ごし方は、「生涯学習」の機会として、そのような暮らしの足がかりになるのではないのでしょうか。

ここでいう「生涯学習」とは、自己の充実や生活の向上のために、人生の各段階での課題や必要に応じて「あらゆる場所・時間・方法により、自発的に行う自由で広範な学習」を意味するとされます。学校や社会の中で行われる意図的、組織的な学習のみならず、スポーツ活動・文化活動・趣味・レクリエーション活動など幅広く多様です。

「あらゆる場所・時間・方法により、自発的に」とはいつでも、人によっても、いつも学習の意図をもっているとは限りません。ここでは、結果的に自身の生き方や考え、態度に変化があったとすれば、それは「生涯学習」をした成果ということができます。「生涯学習」が、楽しみや自己の向上のために行われるのももちろん重要なことですが、一人ひとりが学びを通して、「生きがいの創出」につながっていくことがさらに重要です。

（出典：文部科学省ホームページから抜粋）ここでは、その中でも「趣味」を通して、「おうち時間」を楽しく過ごされている久宝寺地区の皆さんを紹介させていただきます。

♡紙を折る楽しみ・喜び

本町一 垣内 良子

毎年、春に開催されている「長瀬川桜まつり」で、町会として、「お抹茶のおもてなし」で参加していて、私は、退職した翌春から和菓子を担当してきました。（この三年は、コロナ禍でお休みでしたが・・・）

和菓子の桜餅は、透明の包み紙で包まれていて、下に懐紙として、当初は白い紙を敷いていました。翌年は、それを桜の花形に変え、その翌年は、手元

にあった無地の折り紙と桜柄の折り紙を手に入れ、コースター風の敷物にして、お気に入りの方には、記念品としてお持ち帰りいただけるようにしました。おもてなしの数を300人としていましたので、これも同じ敷物を作らなければなりません。

皆さまが持ち帰りやすいもので、工夫も加えて、敷物を折るにも数か月かかりますが、肩がこらない程度に少しずつ折って楽しんでいきます。

今はコロナ禍で、時間に余裕があり、二年先の分まで作ってしまいました。運搬や保管にもかさばらない作品を、楽しく試行錯誤しながら、脳を活性化させています。

使った後は捨てられてしまう運命の敷物ですが、少しでも見て楽しんでくださる方がおられると思えば、やりがいも湧いてきます。

また、町会では、本町第二公園で月三回、「いきいき健康体操」を開催しています。

先日は、熱中症対策として「塩籠甲船」を、折り紙で作ったポチ袋に入れて、「参加の皆さんにお配りしました。」ポチ袋に入る程度の気軽なプレゼントを、季節折々に考え、皆さまと折り紙を通して交流を図りながら元気をもらっています。



♡「おうち時間」が教えてくれたこと

グリーンマンション 吉田 静穂

登山が趣味の私ですが、新型コロナウイルスが全国的に広がり、思うように活動できない毎日。

その寂しい心を払拭するように、大好きなお花づくりに心を向けるようになりました。

しかし、マンションのバルコニーでは、プランターか鉢でしかお花は育てられません。

よって、マンション管理組合の許可をいただき、玄関口である一階の管理事務所の庭を使用させていただくことにしました。と同時に、私と同じような思いをされている有志を募るべく、「園芸サークル」を立ち上げて、現在2名では毎日活動しています。

全く整地されていない庭を花壇にするのは少しばかり大変でしたが、季節毎に美しい花がマンションの玄関口で居住者や客人を出迎える光景を思い浮かべると、自然に身体が動きまわりました。

現在は地盤も整い、美しい花々との日々の対話を楽しんでいます。

何より嬉しかったことは、多くの居住者の方々が花を見出でて下さったときに浮かべて下さる美しい笑顔と「ありがとう」の言葉です。

ふと、思ったことは、「笑顔は幸福の結果ではなく、むしろ幸福の原因なのだ、そして、ありがとう」は、魔法の言葉で、「口に出せば言った方も、言われた方も幸せになれる」ということです。

私は現在、後期高齢者ではありますが、「生涯学習」の気概をもち、これからも「お花づく



りのおうち時間を楽しみながら、自分の心にも、マンションのお庭にも大輪の花を咲かせてまいりたいと思います。

♡コミセンでの教室が楽しみです！

育成会 南 裕子

平成29年、大東市から生まれ育った久宝寺へ引っ越してきました。少し落ち着いた頃、友達が遊びに来て一緒にパンをつくったのがきっかけで、パンづくりに興味をもつようになりました。

まだ、子ども達が小さかったので、家の近くのパン教室を探している中、久宝寺コミセンで教室があるの聞き、すぐに申し込んで通い始めました。パンづくりは、いろんな工程があり、最初は順番を覚えるのも大変でした。

自分でこねた焼き立てのパンは、とても柔らかくおいしかったので、復習を兼ねて子ども達と一緒にパンをつくるようになりました。

子ども達も、パンをこねるのが粘土遊びみたいで楽しかったようです。

そして、自分達がつくったパンは特別に美味し

いと、嬉しそうに食べていました。

また、パン教室では、同じ趣味をもつ友達もでき、毎回来しみにしていました。コロナ禍で途中で教室が中止になってとても残念でした。

今年の4月から、大好きな焼き菓子屋さんが、コミセンで教室を開かれること知って応募し、運よく当選しました。

お菓子づくりは初心者ですが、毎回いろんなお菓子をつくられて楽しいです。

子ども達も、ケーキづくりやパンづくりに興味があるようで、今度は、親子で通える教室があれば参加したいと思えます。

加しいと思います。

♡子どもの頃に出発した大人買い！

東町三 山本 知子

私の「おうち時間」の過ごし方は、もっぱらマンガを楽しむことです。

我が家ではテレビをつけていても誰も観ず、一人ひとりで携帯やタブレットで好きなことをして過ごしています。

携帯を見てみると、広告でマンガアプリが出てきて、見始めるのとくさんの面白いマンガを読むことができて、時間を見つけては色々なマンガを読むようになりました。

でも、私の中でルールがあり、マンガを読むのは「無料で読めるものだけ」と決めていました。

全巻読めるものは、ほとんどありません。

小学生の頃、毎月決まったマンガを買ってもらったマンガが好きだった私は、どうしても続きが読みたいマンガがでてきてしまい、とうとうフリマアプリを使って全巻購入するようになってしまいました。いわゆる「大人買い」です。

その結果、今では600冊程になりました。もちろん私のものだけでなく、子どもの好きなスポーツ系や旅行のものまで色々なジャンルが揃っています。

子どもが成長して個々の時間を過ごすことが多くなってきた今、マンガは、一緒にイベントに行ったり、ストーリーやキャラクターについて家族での会話を楽しめる大切なものになっていきます。



♡フラワー作品にほもりや癒しこめて！

東町二 形埜 まり江

私の家は、久宝寺で小さな陶芸教室「和らぎ」陶芸工房を営んでいます。通り沿いにシヨウウィンドウがあり、作品を並べています。

手作りの花器にお花を飾ろうとしたのですが、私にはセンスがなく、悩んでいました。

近くにある「まちなみセンター」にフラワー教室があるのと知り、「フラワーサークル」で、週一回学ぶようになりまし

た。美しい花々と会話しながら穏やかな時間が過ごせます。今では、私の大切な時間となっています。

フラワー作品を飾ると、ご近所の方々が見てくださり、楽しみにしていると言われるようになりました。

「寺内町歩き」に参加された方々が素敵と言って、写真を撮っていかれます。

皆さまの言葉が嬉しくて、作品への意欲が高まります。

家では、花材を集め、ブリザーブドフラワーを作っています。

ブリザーブドフラワーは、生花とは違う楽しみがあり、温もりや癒しを感じられる作品をめざしています。

記念日のプレゼントやお見舞いなどとしてお届けすると、とても喜ばれます。

それが、さらに私の喜びとなります。

今後も、フラワー作品を見て、季節を楽しんだり、お花に和らぎを感じてもらえるよう、創意工夫に努めていきます。



（次ページに続く）

週一回、作品が変わっていないと、がっかりされる方がいます。私自身が健康を保ち、新しい作品ができるようにしたいと思っています。また、陶器とお花のコラボも楽しんでもらいたいです。

♡カメラマンへの道 久宝寺の子ども達と共に

久宝寺地区青少年指導員 山中 郷司
カメラとの付き合いは、子どもの成長記録を残したいとの思いから始まりました。当時は、コンパクトデジカメが主流でしたが、徐々に一眼レフも多様化され始め、素人でも簡単に手に取ることができるようになっていきました。

その時、たまたま見かけた奇抜なデザインの一眼レフに惹かれて購入したことから、撮影の機会が増え、写真に魅れる時間も増えていきました。今では、久宝寺地区のこども会で、広報部として活動しています。子ども達の様子や活動記録を写真として残し、将来、子ども達が自身の経験を振り返る良いきっかけとなるよう、写真を整理し子ども達のこども会と共有させていただいています。コロナ禍でも久宝寺地区のこども会は、積極的にイベント活動を行っています。毎週土日は、ソフトボールやドッチボール、ダブルダッチにダンスなどのサークル活動を行っており、定期的にこども会全員参加のイベントも実施しています。そのため、有難いことに多くの撮影機会があり、整理の対象となる写真も大幅に増えてきました。コロナ禍の「おうち時間」として、空き時間を見つけてはパソコンに向かい、写真整理を行うことで有効に活用しています。

活動毎の子どもの笑顔や表情を改めて見返すことができ、撮影者である自分自身も思い出を振り返る良い機会となっています。また、写真の共有先である各ご家庭からお礼のお言葉をいただいたときは、何よりも嬉しく活カとなつていきます。

子ども達から愛される名物カメラマンを目指しています！



♡三年ぶりの校庭キャンプ！

久宝寺育成会 野外部
8月20・21日に、小学校にて校庭キャンプを開催し、宿泊の小学生26名、一般参加者105名とたくさんのお客さまにご参加いただきました。三年ぶりの今回は、コロナ禍で制限がある中、何が出来るかを考え、「炊き出し訓練を兼ねたカレー作り」に挑戦しました。

入村式での子ども達は、いつもの学校と少し違う雰囲気、どこか緊張しているようにも見えました。新聞紙でのスリッパや紙皿作り、テントはり、水遊びとプログラムを進めていく中で、お手伝いの保護者とも打ち解け、いつものきやかな声が校庭に響き渡っていました。また、一緒にカレー作りをしている時の嬉しそうな顔が印象的でした。この二日間の体験は、子ども達にとっても大切な思い出になったのではないのでしょうか。



また、今回は静かに楽しめるように体育館で映画鑑賞をしました。皆がスクリーンにかじりつき、夢中になっていました。

当たり前であった日常行事ができることの有り難さ、子ども達が笑顔であることが大切さを改めて気づかされた二日間でした。会場をお貸しいただいた久宝寺小学校を始め、お手伝いいただきました皆さま、ありがとうございました。

♡イザの時に備えて 避難所運営訓練！

久宝寺地区では、これまで防災訓練として地区全体、もしくは各ブロック別の「安否確認訓練」や「消火訓練」「炊き出し訓練」などを実施してきました。今回は、「どのような場合に避難所を作る事ができるか」を考える機会として開催しました。8月21日(日)午後1時30分から、久宝寺小学校体育館で、感染対策として参加人数を制限して、各町会から代表数名づつ、約50名の参加がありました。

訓練は、シミュレーションとして、「避難所運営ゲーム(HUG)」にそって、「居住スペース」「トイレなど衛生面」「備蓄倉庫の点検確認」「物資の調達・分配」などの避難所運営のポイントについて、対応方法などを意見交換を行いながら学びました。6つのグループに分かれた参加者は、各グループ共に、熱心に意見を出し合い、積極的に取り組まれました。避難所は、行政主体で設置されますが、実際の運営は地域が主体となり、行政と連絡を密にしながら進め

ることになります。

今回の訓練では、多くの貴重な意見が出され、皆さんの防災への意識の高さを感じることができた訓練となりました。この訓練をステップに、11月27日(日)には三年ぶりに久宝寺地区全体の防災訓練を実施する予定です。今回の訓練を経験として、地域防災力をさらに高めたいと考えています。



この訓練をステップに、11月27日(日)には三年ぶりに久宝寺地区全体の防災訓練を実施する予定です。今回の訓練を経験として、地域防災力をさらに高めたいと考えています。

♡みんなでつなごう！愛のバトン 愛の献血

昨年に続き、「好きやねん久宝寺まつり」が中止となった9月18日、会場を「久宝寺愛の郷」に変えて、保健部の主催で、大阪府赤十字血液センターに来ていただき、「献血活動」が実施されました。現在、高齢化と共に輸血を必要とする方が増える一方、若い世代の人口減少で献血協力者数が減り続けています。

加えて、コロナ禍の中、企業や学校などでの献血環境が整わず、輸血用血液製剤がより不足している状況にあります。感染防止対策として会場での「密」を避けるため、応募いただいた献血協力の皆さまへは、事前に1時間ごとに来場時間などの調整と案内をしました。当日は、71名の来場受付があり、献血いただいた方は、56名となりました。

今回、献血にご協力をいただいた皆さまには、本当にありがとうございました。残念ながら、血液比重などの関係から、お越しいただいたにもかかわらず、献血できなかった皆さまにも厚くお礼を申し上げます。合わせて、会場では「路上喫煙マナー向上推進啓発活動」を実施しました。お越しいただいた皆さまに、受付で啓発の「うちツトティッシュ」や「うちわ」をお配りして、「ポイ捨てたばこ」などのない、美しい久宝寺づくりへの協力をお願いしました。



をお願いします。

♡心温まるご縁で 久宝寺に活力を！

久宝寺小学校区まちづくり協議会
「久宝寺寺内町で婚活」実行委員会
委員長 甲斐 裕子
8月28日、まちづくり協議会主催で、まちなみセンター1、および顕証寺にて三年ぶりに「久宝寺寺内町で婚活VI」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、マスクを外してお話しいただきやすくなるために、パーティションを設置するなど工夫を加えました。

当日は、連日の暑さが和らいだ絶好のお出かけ日和で、男性9名、女性8名の方々のご参加がありました。

はじめに、先の「婚活IV」が縁で結婚された方に、ご自身の思い出と激励のお話をさせていただきました。次に、自己紹介を兼ねて、全員とお話しする時間を過ごしていただいた後、まち歩きで寺内町散策。そして、場所を顕証寺に移して、「住職から一人とのご縁について」の講話をいただきました。その後、会場へと戻り、喫茶フチさんのコーヒを飲みながらのフリースタイル。

意中の人にアピールできる最後のチャンスです。終始和やかなムードで、あつという間の時間です。そして、いよいよカップルの発表です。なんと6組の爽やかなカップルが誕生し、みんなで祝福しました。

このイベントは若い世代の方々に久宝寺の良さを知って、観光やデートスポットとしても足を運んでいただき、ひいてはこの久宝寺に住んでもらいたいという想いから始まった催しです。



久宝寺で繋ぐご縁で、皆さまにも幸せが訪れますよう願っています。

歳末の主な行事予定

- ◇久宝寺地区防災訓練…11月27日(日)
- ◇地域一斉清掃 …12月11日(日)

住民懇談会 子供の教育と育成を考える！

私たちのライフスタイルが従来とは異なってきている現在、子どもを取り巻く環境も変化・多様化し、その教育や育成の在り方が問われています。

この4月に久宝寺小学校・久宝寺中学校へ、新たに校長先生をお

迎えしたことを機に、7月8日に「住民懇談会」として両校長先生からお話をいただきました。

久宝寺小学校の多目的室を会場として、福祉委員会委員、PTAをはじめ地域の皆さん約35名の参加がありました。両校長先生の子どもの教育や育成についてのお考えや思いのみならず、お人柄を伺える貴重な機会となりました。

本ページでは、両校長先生のお話を要約して紹介させていただきます。

教育に携わって これまでとこれから

八尾市立久宝寺小学校
校長 松原 美幸

1. 教員としての姿勢～自己紹介をかねて～
まわり道をたくさんしながら、教員になりました。
私の学級づくりを支えていたのは、「学級通信」と「みんな遊び」です。
また、何を大切にしてきたかという、その子なりの「表現」と「集団づくり」です。
安心してできる集団だからこそ、子どもたちは、自分だけでなく、周りの一人ひとりを大切にすることができ、「一人ひとりを大切に」するためにも、集団づくりがまず必要です。
「その子の今」をみとって、大らかに、「待つ」姿勢でいることを意識していました。
2. 自己肯定感について
全国学力学習状況調査の結果から、自己肯定感と学力には相関関係があるといえます。
「自己肯定感」とは、自分のいいところも、ダメなところもひっくるめて、自分を認め、肯定する気持ちのことです。
自己肯定感の高い子は、気持ちに余裕があって、人に親切です。そして、自然と周囲に人が集まってきます。
「自分が好き、人が好き、人に好かれる」という好循環が生まれるということになります。
「自己肯定感」が育むために、3つをあげると、「無条件の愛情」と「人からの信頼」、そして「自信の貯金」です。
私には居場所がある、私にはわかってくれる人がいる、良いことも悪いことも、悲しいことも口に出せる、愚痴もいえるし、自慢話も安心してできる、居心地の良い場所。
安全地帯がある子は、心の安定をもち、そこから安全地帯でないところにもいけるのです。



3. 薩摩藩の郷中教育
西郷隆盛が生まれた、鹿児島県の鍛冶屋町（半径250Mの小さな町、ちょうど寺内町くらいの広さです）は驚くほど多くの偉人を輩出しています。
たまたま、優秀な人材が集まっていたのでしょうか。
いえいえ、違います。
私は、そのひみつを、桜島を仰ぎ見るその地理的環境と「郷中教育」と考えます。
郷中教育は薩摩藩における伝統的で他にはみられない独特な教育制度です。
「教育が人をつくる」。教育によって、どんな若者でも才能を開花させることができる証拠がここにあります。
4. 久宝寺小学校の学校教育でめざすもの
新しい学びへの転換を図りながら、4つのキーワード「主体性・よく考え学ぶ・思いやり・つながり」を柱に、子どもも教職員も「明るく、前向き」になることができる、大らかな学校経営をし、保護者や地域のみなさまからも信頼される学校づくりを行っていきたくと思います。

一人ひとりが 自分らしい人生を！

八尾市立久宝寺中学校
校長 塚本 妙一

1. 教員としての経歴
私が中学生の頃、英語は苦手教科でした。
自分なりに勉強を始めて、理屈が分かってくると面白くなってきて、英語に困っている中学生に教えたいという思いが湧いたのがきっかけでした。
初めての勤務は、八尾市立成法中学校でした。
そこでは、授業の在り方はもとより、子供の成長を願う指導が仕事であること、指導を通して人間を育成していることを意識させられました。
今でも、この時の経験がいろんな場面での指針となっています。
平成11年には久宝寺中学校へ転勤となり、その後、市内の小中学校や教育委員会を経て、この度、2度目の久宝寺中学校への勤務となり、今年で28年目を迎えました。
2. 目指してきたこと、大切に思うこと
学校の使命は、言うまでもなく勉強を教えることです。



一方、クラブ顧問としての生徒との関りを通して、生活面の指導を始め、学習面以外の支援をする機会がたくさんあります。
教員は、「学校での親」として、しんどい時、どうしていいかわからない時に、ふさわしい道を、愛情をもって教えることが使命だと考えています。

問題に対しての適切な対処方法を学び、人との関係を良好に保ち、よりよく生きていけるヒントを与えることが大切に思います。
一人ひとりに「自分はどのように生きていくのか」を考えさせるのが教育であり、「自分らしい幸せな人生」を送ってほしいと願っています。
そして、生徒全員が「自分の幸せな人生」のイメージをもって卒業してほしいと思っています。

3. 人と違っていい
幸せと感じる生き方は、人それぞれで、違って当然だと思います。
そして、「自分らしくふるまう」ことには、ある程度のメンタルの強さがないと実践できないのではないのでしょうか。
メンタルが強い人と弱い人の違いは、「自分で自分を評価しているか」「他人の評価で自分を評価しているか」の違いだと言われます。
「自分の評価」を基準に生きている人は強くなり、「他人の評価」を基準にしている人は、どんどん弱くなるということです。
子ども達には、「誠実に生活して、自分を信じて、自分なりの幸せな人生を送ってほしい」と思っています。
4. 学校の応援団
学校での楽しい思い出やちょっと心が痛い思い出も、子ども達の人生の糧になり、地域や社会を作っていく人となっていきます。
久宝寺地区の皆さんのご協力なくしては、子ども達の教育はできません。
引き続き、「学校の応援団」としてご協力をいただきますようお願いいたします。